

車いすバスケの魅力、難しさ知る

放課後子ども教室「車いすバスケットボール体験」



▲講師に指導を受け、実践に取り組む児童

10月16日・17日に、放課後子ども教室で「車いすバスケットボール体験」がファミリースポーツセンターで行われました。

16日は高学年21名、17日は低学年26名の児童が車いすに試乗して、鬼ごっこや試合形式のゲームを行いました。

「車いすに乗りながらのバスケットボールは難しかったけど、車いすでターンができるようになったりと、だんだん車いす操作に慣れてきて楽しかった。」と話していました。

助け合い、支え合う地域づくりを

船見ヶ丘東・西自治会 徘徊搜索模擬訓練



▲行方不明者役の男性を見つけ、優しく声かける参加者

10月12日、船見ヶ丘東・西自治会を対象に地域支え合い体制づくり事業の徘徊搜索模擬訓練が行われました。認知症高齢者への声かけ方法などの理解を深めたあと、4グループに分かれ不明者役の搜索を行いました。

参加した女性(60代)は、「声のかけ方、誘導方法など学ぶことでスムーズに対応できた。一人で探すのと複数で探すのとでは違うことも実感できたので、よい体験になりました。」と万が一に備えていました。

**10年の節目を祝う**

いずみの学校10周年記念式典

10月12日、地域交流センター「とわにー」において、学校法人シュタイナー学園の創立10周年記念式典が開催されました。

いずみの学校は、平成20年に学校法人の認可を受けて、旧豊浦中学校の校舎に初等部・中等部を開校し、現在は83人の児童・生徒が通っています。

須藤敏幸理事長は、10周年を迎え「皆さんの協力を得て歩いて来られた」米永宏史校長は、「これからも持続可能な学校づくりを行っていききたい」と話していました。

今後のさらなる発展を願っています。